

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	天竜川和船造船技術の伝承事業
事業主体 (連絡先)	天竜川和船文化保存会 信南交通株式会社地域観光事業部内事務局 TEL0265-24-3345
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,569,144 円

#### 事業内容

天竜川の造船技術の伝承事業として、2名の船頭への技術伝承をおこなう為に2艘の船を制作した。地域材の活用の為、根羽村森林組合より舟材を購入した。またホームページを作成し伝承事業を告知した。和船文化を架け橋とした海外交流でアメリカ人船大工ダグラス・ブルックス氏と共同制作した。見学会を2月4日5日6日に開催し一般82名が参加した。学生は阿南高校・追手町小学校・龍江小学校の3校計71名。南信州観光公社のツアー26名。シンポジウムは2月9日に飯田人形劇場で開催し来場者41名。ダグラス・ブルックス氏の基調講演と5名のパネリストによるパネルディスカッションをおこなった。



【 舟の立て板をつける作業 】

#### 【目標・ねらい】

- ①造船技術の伝承
- ②舟材の地元調達による地域活性化
- ③和船文化を通じた文化交流

#### 事業効果

- ①特殊な舟釘・道具を使った造船技術を先輩船大工から2名の船頭さんに伝承した。見学会を通じて、高校生・小学生・一般の方に舟釘や道具類の特殊性や造船技術の特殊性を知っていただき、伝承の必要性を理解いただいた。
- ②根羽村森林組合より822960円で舟材を購入することにより森林事業への貢献ができた。
- ③アメリカ人船大工ダグラス・ブルックス氏と共同制作をすることにより、日米の違いや、ダグラス・ブルックス氏が見てきた日本各地の造船との違いで、改めて天竜川の造船技術を見直した。高知県の土佐和船友の会の片岡氏も共同制作に加わって技術の情報交換をした。シンポジウムや見学会を通して新聞・テレビに取り上げられた。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】2名の船頭への技術伝承も進んだ。造船見学会を通じて高校生・小学生・一般の方々に天竜川の造船技術を見ていただき、伝承の重要性や舟釘・道具類の特殊性を理解いただいた。船大工見習いの船頭も見学者に説明や技術を披露することにより励みとなった。

#### 今後の取り組み

造船技術の伝承もある程度行えたので、新たな造船をして技術伝承をより確実に進めていきたい。造船技術の伝承は今まで設計図やマニュアル等が存在していなかったが、シンポジウム等で指摘いただいた造船技術の資料のデータ化を確実に進めていきたい。高校生・小学生が興味深く見学や舟釘を打つ体験をしてくれたので、今回の3校とその他学校にも見学会を続けて行きたい。南信州観光公社のツアーでは県外の方々にも天竜川の造船技術を知っていただけたので他の旅行会社にも造船見学ツアーを企画いただき、多くの方の長野県の天竜川の和船文化に触れていただく機会を作っていきたい。